

●世田谷区政や日本共産党へのご意見をお寄せ下さい。

## 今からでも、今だからこそ、五輪中止を！ 命最優先の政治へチェンジ！！

国民の不安・反対を無視し、五輪が強行されています。一方、深刻なワクチン不足のなか、五輪を起点にした変異株の爆発的拡大・医療崩壊のリスクが高まっています。

都議選では、中止を掲げる日本共産党都議団が19議席を獲得、野党第1党となる等、「五輪中止」の明確な民意が示されました。

この間区議団も、申し入れや議会質問で、「五輪中止を国等へ求めよ」また「コミュニティライブサイト（自治体版パブリックビューイング）や学校連携観戦中止」を求め続けてきました。日本共産党は、最後まで五輪中止の立場を貫きます。

秋には総選挙が予定されています。市民と野党の共闘で、命・暮らし最優先の政治実現のため、奮闘します。



左から高城区議、坂本地区常任委員、保坂区長、里吉都議、川上地区常任委員、中里区議、江口区議

### コミュニティライブサイト・学校連携観戦中止が実現！

この間、区内労組や市民団体等が垣根を超え、学校連携観戦中止を求め、区へ要請が行われ、区民世論が大きく広がりました。

6月の第2回定例会で江口区議は、区議団を代表した質問で、「政治が最優先すべきは命を守ることであり、中止決断を国等へ求めよ」、更に「区長が推進してきた社会的検査（大規模なPCR検査）等感染対策と五輪開催は両立しない。国等の決定だから従うのでは、区長の政治姿勢と異なる」と迫りました。更に、区主催コミュニティライブサイトや学校連携観戦中止の決断を求めました。

区長答弁は、「（学校連携観戦実施は）極めて困難な状況」、「リスクの最小化を念頭に判断」に留まりました。立憲民主党も学校連携観戦中止を求めました。

議会後、区は、都議選結果も示されるなか、これらの中止を発表しました。市民と野党の共闘が、区の決断を後押ししました。

### 命・暮らしを守るため、区長へ申し入れ

7月19日、区議団は里吉都議と共に、区長へ、「五輪中止を求めよ」「区内でキャンプする米選手団への感染対策」「エッセンシャルワーカーへの優先接種」「事業者支援」等求め、申し入れを実施しました。詳細は2面をご覧ください。（右上写真参照）

都議会議員選挙では34225票、第2位で、都議会に送り出させていただきました。

「オリンピックを中止しコロナ対策に全力を」「都立松沢病院の独立行政法人化を中止し、直営で拡充を」をはじめ公約実現に力を尽くします。

日本共産党都議会議員

里吉 ゆみ



# コロナから区民の命とくらしを守れ

## コロナを封じ込める支援の対策強化を ワクチン・検査・補償・支援

この間区議団は、コロナを封じ込めるために、①ワクチンの安全・迅速な接種、②大規模 PCR 検査の実施、③医療機関への支援、④十分な補償と生活支援の対策を求めてきました。第2回定例会で区は「ワクチンの迅速な接種を最重要課題として取り組んでいるが、社会的検査や医療機関支援などを引き続き実施」と答弁。補正予算で、医療機関の経済的支援や、生活支援として子育て世帯への区独自給付金などが実現しました。



### 五輪中止、コロナ対策について緊急申し入れ

五輪開会を4日後に控えた7月19日、里吉都議と区議団は、保坂区長に対し「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ」を行いました。

あらためて、五輪開催中止を国等へ要請することを求めましたが、区長から五輪開催是非に関する明言はありませんでした。

また区議団は、区内の競技会場（馬事公苑）やアメリカ選手団キャンプ（大蔵運動公園）での陽性者発生時や保健所・医療機関逼迫の懸念等を伝え、具体的対策と区民説明を要請。区長は「キャンプ地や馬事公苑での対策を記者会見等通じて広報する。組織委員会にもしっかり対応を求める」と応えました。

更に不足するワクチンについて、国に対し安定供給を強く求めると共に、介護・障害・保育等エッセンシャルワーカーの優先接種確保を求めました。区長は「対応を進めている」と応えました。また、社会的検査（福祉施設等でのPCR検査）の定期検査対象に、保育園、小中学校、高校の追加を求めました。



### 医療機関への支援強化

医療機関逼迫の要因に、コロナ病棟で重症患者が回復しても、受け入れる一般・リハビリ病床が不足し、重症ベットが空かない、という問題があります。

区議団は、医療機関の負担軽減と自宅待機者を作らないため、地域医療が連携し患者を受け入れるための仕組み・支援を求めてきました。補正予算で、回復患者を受け入れる病院等への補助等実現しました。



### 子育て世帯へ区独自の給付金実現

区議団は、コロナで苦しむ区民への経済的な直接支援を求め、補正予算で区による給付金を実現しました。低所得の子育て世帯への児童一人あたり5万円の国の給付に、区が独自に3万円の上乗せを行います。また、昨年実施された一人10万円の特別定額給付金の対象とならなかった令和2年4月28日から12月31日生まれの児童の保護者に区として児童一人当たり10万円の支給を行います。

## 打てば響く街づくりで本来の地域行政を！

世田谷区では、地区（まちづくりセンター）、地域（総合支所）、全区（本庁）の体制により、区民に身近な行政をめざす地域行政に取り組んでいます。現在、住民自治や住民参加を進めるため、条例制定に向け（仮称）世田谷区地域行政推進条例（骨子案）をまとめ、この間、パブリックコメント、オンラインでの説明会、各町会長会議での意見交換を実施してきました。

### 自民党区政で後退した地域行政

地域行政の第一の目的は、地域住民に密着した総合的サービスの展開です。2005年の「出張所改革」で、当時27ヶ所の出張所のうち20ヶ所の窓口機能をなくしてしまいました。区民サービスを低下させ、地域行政を後退させました。

### 地域行政の本来の姿を取り戻せ！

この間、まちづくりセンターでは、区職員が高齢者のワクチン予約の手続き支援を行い、多くの方に喜ばれました。「身近な行政」の本来あるべき姿を実感する機会となりました。

これは、高齢者のワクチン接種予約の電話が繋がらないなど混乱があった際に、支援を求め緊急に行なった区議団の申し入れや多くの世論を受け、区が実施したものです。

中里区議は、一般質問で区民と行政サービスを結びつけ地域行政を発展させるため、まちづくりセンターを身近な行政の拠点として位置づけ、窓口の強化、対面の業務の強化をすすめることを求めました。

区は、区民への対面サービスの充実や、本庁や総合支所とつながる仕組みの導入などにより、多くの方がまちづくりセンターを利用できるよう検討を進めると答弁しました。

## 若者の貧困～あらゆる手段で支援を届けよ！

### 「毎日1食しか食べていない」学生から生活困窮を訴える声

区議団が1月に行った区民アンケートで、若者から、バイト収入の減収などにより「学費も生活費も賸えない。生きていけない」「特別定額給付金（10万円）以外利用できる支援がわからなかった」また、区内で活動する民主青年同盟が行った「フードバンク」でも、学生から「毎日1食しか食べていない。他にも同様の人がいる。」などの声が寄せられました。少なくない学生が生活困窮に陥っており支援に繋がらない実態がある事が明らかになりました。

たかじょう区議は一般質問で、大学を通して学生に対し支援の情報提供を行い具体的な支援を行うことを求めました。

区は、「区内大学に対しチラシの配布や学生との連絡手段を通じた支援の情報提供を依頼する、庁内部局との連携でSNSを活用する」と答弁しました。区は早速調整を進めています。



民主青年同盟のフードバンクの様子

## 区が鳥山・下馬図書館に指定管理者導入を提案



区立下馬図書館

7月末、区は来年度鳥山・下馬図書館2館の指定管理者導入方針を提案しました。指定管理者とは公共施設の運営を民間事業者に委ねるものです。現在、区立図書館16館中、経堂図書館で指定管理者、世田谷図書館と梅ヶ丘図書館でカウンターの民間委託が行われています。

公立図書館としての役割を果たすには、安定性・継続性・専門性が必要です。区立図書館は、職員の安定的雇用と選書・レファレンス等の経験蓄積で、地域や読み聞かせ会等の団体とつながり、図書館サービスを進めてきました。一方、図書館の専門家である司書の育成・配置に課題があります。

指定管理者の経堂図書館では、司書は十分配置され

ていますが、毎年赤字運営・低い人件費率・職員が1年で3分の1も入れ替わることが明らかになっています。読み聞かせ会が撤退する事態もおきました。

区議会では、公明党が区直営はコストが高い等として、全館民営化を求めています。

区議団は「指定管理者ありき」の民間導入に反対し、区の図書館政策の検証をしっかりと行うこと、指定管理館での安定性・継続性等の課題の解決を求めてきました。しかし区は、検証や対応が不十分なまま、来年度に指定管理者導入を行い、更に文教委員会に報告された「『知と学びの情報拠点』を実現する魅力ある図書館づくりを推進する運営体制について」で「順次民間活用を検討していく」としています。

保坂区政として、このまま民間導入を進めてよいのか、大きく問われています。魅力ある図書館がどうあるべきか、共に考え、行動していきましょう。



江口じゅん子

**コロナワクチンは、  
3つの基本的対応を貫け！**

基本的対応として、①希望者への早期接種②迷っている人への情報提供と相談窓口設置③希望しない人への差別・不利益を受けない配慮、が必要です。接種者の特典付与の慎重対応を求めました。区は「予約・相談受付ワクチンコールセンターのフリーダイヤル化」や「未接種者が不利益を受けないよう、配慮する」と答弁しました。

**不登校児対策の早急な強化を！**

不登校後、自宅で長期間過ごす子どもは多く、居場所が無い、学習の遅れ、また不安を抱える保護者支援等課題が山積です。

私は、民間と連携したほっとスクール増設・居場所づくり・アウトリーチ、更に不登校特例校設置等多様な支援を求めました。区は「ほっとスクール等子どもの居場所は出来ることから着手」と答弁。今後も、誰一人置き去りにされない対策を求めます。

**発達障害児支援……特別支援学級増設を！**

増加する発達障害児の新たな学び場として、今年度特別支援学級が小学校2校、中学校1校に開設。しかし、交通アクセスは悪く、小学校は送迎が必須で、利用を諦める家庭もあります。35人学級整備と合わせた増設を求めました。区は「地域偏在解消に向け、設置を検討」と答弁しました。今後も発達障害児支援に取り組みます。



中里光夫

**保育の質を守るために**

区は保育待機児ゼロを発表しましたが、子どもを詰め込む定数弾力化や隠れ待機児など、まだまだ保育園整備は必要です。区は新規事業者募集停止を表明しましたが、私は今後の動向をみて再開せよと求めました。区は「引き続き保育待機児ゼロの継続、保育の質の充実に努める」と答弁しました。

**保育士への家賃補助の継続を求める陳情が「趣旨採択」**

保育士の家賃補助制度（月82,000円）は保育士確保に欠かせないものとなっています。昨年、国の補助の期限となり、区民の運動で国の補助が継続されましたが、来年度以降の目処が立っていません。

公的保育・福祉を守る世田谷実行委員会が制度の継続を求めて陳情、7月8日の福祉保健委員会で審議されました。私は「この制度がなくなれば、多くの保育士がやめざるを得ない」と採択を主張しました。自民・公明が継続、立憲、F行、生ネ、あらたが趣旨採択を主張し採決の結果「趣旨採択」となりました。

**高齢者の医療費2倍化など、医療改悪から区民生活守れ**

国会で、高齢者の医療費2倍化や国保料値上げの圧力を強める健康保険法改悪が行われました。区民生活への影響、国保料負担軽減へ区長の姿勢を質しました。区長は「高齢者が受診を控えることが無いよう注視する」「国に子どもの均等割軽減の対象拡充など求める」と答弁しました。



たかじょう 訓子

**区は利用率の低い施設の廃止・統廃合を検討 参加と協働の方針を貫け！**

区は、利用率が低い施設について、施設の有効活用、他の用途への転用、または廃止、統合など検討を進めています。住民の参加と協働で進める区の方針を貫き、地域住民と共に検討することを求めました。

区は、地域の方に対し説明の機会を設ける等丁寧な対応に努めていくと答弁しました。

**岩崎学生寮周辺敷地を公園に 住民参加で進めよ！**

区は、公園用地として北烏山7丁目の岩崎学生寮周辺敷地の用地取得の協議を行うとしています。かつて緑の保全を求める運動があった所であり、地域住民の皆さんは大変期待を寄せています。樹木の適切な保全、地域住民の声を聞き丁寧に進めることを求めました。

区は、アンケート調査を実施するなど意見やニーズを踏まえ進めると答弁しました。

**コロナ禍の事業者への直接支援を行え！**

この間、「協力金などを受けても家賃など固定費負担が大きく事業継続が厳しい」など事業者の声を伺ってきました。事業者への再度の家賃支援給付金などを国や都に求め、さらに区として事業を支えるための支援を求めました。

区は、「国や都に対し必要な要請を行う、事業者への月次支援金の申請支援を行う」と答弁しました。

**都政報告**

**時短営業に伴う協力金の前払い実現**

これまで、共産党都議団が繰り返し求めてきた飲食店への営業時間短縮に係る協力金の前払いが実現しました。

「営業時間短縮等に係る感染拡大防止協力金（7/12～8/22実施分）」は、酒類を提供しないこと、時短営業することなどの誓約書に署名すれば、一部を早期支給するとしています。早期支給分は、1店舗あたり112万円（4万円×28日、前半4週間分）です。

一方で、以前申し込んだ協力金が出ていないなどの相談も相次いでいます。長引く時短営業要請で「もう限界だ。いい加減にしてほしい」などの声も多数出ています。また金額についても、補償の名にふさわしい思い切った引き上げが必要です。

申請の方法やお困りごとは、共産党都議団にご相談ください。（電話 03-5320-7270）

**東京都で教職員へのワクチン接種スタート**

東京都が設置する大規模接種会場で、公立の幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・高等学校、特別支援学校などに勤務する教職員（時間講師なども含む）で、希望する方へのワクチン接種がはじまりました。



里吉ゆみ